

実り豊かな生活文化都市

中央市

議会だより

2006年5月1日発行

創刊号

発行 山梨県中央市議会

発行人 議会議長 田中周治

編集 議会広報編集委員会

小さな胸に大きな希望を！



保育園入園式（田富北保育園）

中央市議会スタート！

2/27・28 臨時議会

新しい市議会の組織構成

2～3

■ 田中議長・塚田副議長 就任のあいさつ、市長祝辞

4

■ 臨時議会で決まったこと

5

3/9 第1回定例議会

18年度一般会計暫定予算など25議案を可決

6～7

■ 談話室・編集後記

8

新たな町づくりへ

スタート

新しい議会構成決まる



議長に田中周治氏を選出

副議長に塚田徳夫氏を選出

平成十八年二月二十日の中央市発足に伴い、第一回臨時市議会が二月二十七日(月)午前十時に開会されました。

第一日の二十七日には、四十三人の議員が出席し、年長議員の一瀬満議員が臨時議長となつて議事を進めました。

正副議長の選挙を行い、投票の結果、議長に田中周治議員、副議長に塚田徳夫議員が当選しました。

(議長選挙結果) (副議長選挙結果)

田中 周治	28	塚田 徳夫	29
山本 国臣	15	田中 一臣	13
無効	1		

また、四つの常任委員会と議会運営委員会、議会だより編集委員会、広域関係の市選出議員など、新市の議会構成を別表の通り決定し、中央市議会の新メンバーが決まりました。

提出議案は、議員提案による市議会の委員会条例、会議規則など五件、および市農業委員の推薦を、原案の通り可決しました。

第二日の二十八日は、市長職務執行者(河西敏郎氏)の提案による中央市役所の位置を定める条例、ほか一六七件の条例、専決処分三〇件を審議の結果、いずれも原案の通り可決、承認して閉会しました。



総務 常任委員会

委員長

河西 健二
布施二二二五

副委員長

宮川 弘也
若宮二一一三



石原 正人
大鳥居三五九三



教育 常任委員会

委員長

小沢 治
木原八六九

副委員長

小池 満男
布施一九八八



石原 芳次
乙黒五七三



大村 俊枝
木原一〇九五二



井口 貢
井之口六〇三



河住 一男
極楽寺一三三五



福田 清美
大鳥居三〇一八



関 敦隆
布施二〇五一



山土井輝雄
木原一〇九三



田中 健夫
東花輪三七二



塚田 徳夫
高部一六五五



多田 源久
布施一九四二



塚原 毅
下三条一三〇七



一瀬 満
布施一六四一八



山本 国臣
西花輪二六八一



中沢 勝子
下河東六三四



野中つね子
中橋二五四〇二



田中 周治
一町畑一九二

3万市民とともに

中央市議会が

2月27日 第1回臨時市議会で



中澤 一夫
下河東五九八



副委員長
河西 定男
今福新田七二二



委員長
山村 一
極楽寺四二七



産業土木
常任委員会



仙澤 富次
上三条五五二二



副委員長
乙黒 房子
成島一八一九



委員長
石川 直
浅利三〇三四



厚生
常任委員会



橘田 芳雄
藤巻一五五三



保坂 武
西花輪四二二



中澤 俊貞
木原一三七二



五味 淳治
浅利二九八九



内藤 進
成島一〇四一



長沼 辰幸
臼井阿原七八二



福田 集治
大鳥屋三六七一



一瀬 明
山之神四一八七



田中 一臣
上三条五二二



田中 義広
今福二七六



大沼 芳樹
浅利二三九〇



田中 克夫
乙黒五七八



村上 仁
井之口五九七



河西 俊彦
布施二三〇四



植村 貴幸
関原三三八



設楽 愛子
東花輪二〇五四八

議会運営委員会

委員長。副委員長

一瀬 満。五味 淳治

関 敦隆。福田 集治

乙黒 房子。中澤 俊貞

河西 健二。村上 仁

田中 克夫

議会だより編集委員会

野中つね子。山土井輝雄

中澤 一夫。石原 芳次

小沢 治。一瀬 明

小池 満男。石川 直

河西 定男

甲府地区広域行政事務組合

小池 満男。河西 定男

河住 一男。村上 仁

中巨摩広域事務組合

宮川 弘也。山本 国臣

設楽 愛子。田中 克夫

東八代広域行政事務組合

石川 直。塚田 徳夫

甲府市・中央市中学校組合

大村 俊枝。小沢 治

福田 集治。山土井輝雄

石川 直。塚田 徳夫

植村 貴幸。五味 淳治

三郡衛生組合

一瀬 明。長沼 辰幸

井口 貢。内藤 進

飛躍する市政をめざして

議長就任あいさつ

議長 田中周治



中央市発足に伴い、二月二十日に行われた臨時議会におきまして、議員各位のご推挙をいた

だき、中央市議会議長の要職に就くことになりました。

平成の大合併により、田富町・玉穂町・豊富村の三町が合併し、最初の議会議長としての大役を仰せつかりましたことは、まことに身の引き締まる思いと、その責任の重大さを痛感しております。

もとより、浅学非才、その器でないことは重々承知しておりますが、新市発展の礎となるべく、市議会議員の先頭に立ち、その職責を全うし、議会運営に努めていくべく、粉骨碎身の努力を傾注してまいります所存です。

市当局と議会は、車の両輪のごとくでありますが、お互いがそれぞれの立場で、市民福祉・市政推進のために頑張り抜くことが重要であります。

議長就任に当たり、市民の皆様のご理解とあわせ、今後のご指導・ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。

副議長就任あいさつ

副議長 塚田徳夫



このたびの臨時議会におきまして、副議長に就任いたしました。私にとりましては、まことに身に余る光栄であり、その責任の重さを痛感しております。

地方分権が進み、市においても構造改革は待ったなしであり

ますが、中央市らしい活力あるまちづくりを進めるためにも、行政の果たす役割は重要です。議長を補佐し、その重責を全うする決意であります。

皆様のご意見を真摯に受け止め、市政に反映させ、公正・公平な議会運営を、議長とともに進めていく所存です。

市民の皆様のご支援、ご指導をいただきますようお願い申し上げます。

創刊に寄せて

中央市長 田中久雄



中央市は、本年二月二十日に旧玉穂町、旧田富町、旧豊富村の合併により、山梨県下十三番目の市として誕生致しました。これもひとえに議員各位を始め、市民の皆様方のご理解とご協力の賜と、深く感謝申し上げます。

今社会は、イラク問題や、北朝鮮問題など不安定な国際情勢にあり、国内の経済状況は、回復の傾向にあるといわれていますが、その実感は乏しく、不透明な時代が続いています。こうした中、地方においては、国が進める三位一体の改革により国庫補助金、地方交付税の見直しなど、依然として厳しい行財政運営を余儀なくされ、また、少子高齢化問題など、これまでに経験したことのない課題を多く

抱えています。

このような状況ではありませんが、合併によるメリットを最大限に活かし、住民サービスの向上と、行財政の効率化を進めるとともに、地域のことは、地域で決めて実行する本格的な地方分権時代を迎え、自立した活力ある新市を構築し、中央市の将来像であります「実り豊かな生活文化都市」を目指してまいりたいと考えております。それには、なにより市民の皆様の意向と行政及び、議会が一体となつて、円滑に機能していくことが大切であると思えます。

市民の皆様の総意を市政に反映させるべく、まいしんしてまいりますので、今後とも議会ともどもご理解ご協力を賜りますよう申し上げます。議会広報の創刊に寄せての挨拶といたします。



議会組織表つづき

■大畠山外七字恩賜県有財産保護組合
河西 定男 田中 義広

■西日向外三山恩賜県有財産保護組合
石原 正人 大村 俊枝
小沢 治 福田 集治
山土井輝雄 福田 清美
植村 貴幸

■青木ヶ原ごみ処理組合
塚田 徳夫

■日向山恩賜県有財産保護組合
塚田 徳夫 中澤 俊貞

第1回臨時議会で決まったこと

この臨時議会では、中央市の新発足にあたって、必要となる基本的な事項（条例・規約・予算等）が河西敏郎市長職務執行者から専決処分事項として提案され、28日の本会議で提案説明があり、すべて原案の通り承認しました。その主なものは次のとおりです。

市役所の位置を定める条例など

198件を可決

- 【条例】 一六八件（抜粋）
 - 中央市市役所の位置を定める条例（旧田富町役場）
 - 中央市議会の定例会の回数を定める条例（年四回）
 - 中央市行政組織条例
 - 中央市役所支所設置条例
 - 中央市情報公開条例
 - 中央市個人情報保護条例
 - 中央市防災会議条例
 - 中央市生活安全条例
 - 中央市職員定数条例
- 中央市職員給与条例
- 中央市税条例
- 中央市国民健康保険条例
- 中央市立学校設置条例
- 中央市公民館条例
- 中央市立図書館条例
- 中央市立保育所条例
- 中央市都市公園条例
- 中央市下水道条例
- 中央市営住宅条例
- 中央市水道給水条例（以下略）



中央市議会議場

【予算】平成十七年度一般会計および特別会計暫定予算 一件

○中央市一般会計暫定予算

○中央市国民健康保険特別会計暫定予算

（以下略）

【指定金融機関の指定】

○山梨中央銀行を指定金融機関と定めるもの。

【合併に伴う一部事務組合件】

○合併に伴い各広域組合の規約を変更する件 九件

【甲斐市・昭和町介護認定審査会に加入】

○中央市が加入するための規約改正

【事務の委託】

○昭和町に広域イントラネットに関する事務を委託するための規約

【共同設置規約】

○指導主事、ことばの教室、文化財主事、峡中地区ことばの教室等の共同設置に加入するための規約の変更。 七件

一般会計 暫定予算は52億6555万円

【予算】 一件

○一般会計暫定予算

五億六、五五五万四千円

○国民健康保険特別会計暫定予算

五億七、三三六万五千円

○老人保健特別会計暫定予算

五億一、六五四万四千円

○介護保険特別会計暫定予算

二億七、九五一万七千円

○介護保険サービス特別会計暫定予算

一億三、三三二万二千円

○簡易水道事業特別会計暫定予算

五億四、九二〇万五千円

○下水道事業特別会計暫定予算

六億三、六一九万三千円

○農業集落排水事業特別会計暫定予算

一億四、二四六万三千円

○田富よし原処理センター事業特別会計暫定予算

一、三〇六万一千円

○土地区画整理事業特別会計暫定予算

四億六、九九七万七千円

○下水道事業会計暫定予算

（営業収支）

収入 九、三〇一万円

支出 一億一、一八九万八千円

（資本的収支）

収入 一億五、〇〇〇万円

支出 二、二八五万五千円

中央市初の3月定例議会

一般会計暫定予算など25件を可決 3月9日

中央市スタート後、初の定例市議会が三月九日午前十時、四三人の全議員が出席して開かれました。

この議会では、本予算が成立する六月までの一般会計暫定予算・各特別会計暫定予算をはじめ、平成十七年度暫定補正予算三件、条例の改正一件、規約の改正ほか一〇件の計二十五件が市長職務執行者から提案され、審議の結果全議案を原案のとおり可決、承認して閉会しました。

介護保険料を統一し、改定

○中央市介護保険条例の一部改正

年々増加する介護給付費の財源を確保するため、第一号被保険者（六五歳以上）の保険料基準額を引き上げるとともに、旧

三町村ごとに格差があった保険料を一本化するもの。

新しい所得段階における保険料は次のとおり。

（平成十八年度から）

・第一段階

年額二二、〇四〇円

・第二段階

年額二二、〇四〇円

・第三段階

年額三四、五六〇円

・第四段階（基準額）

年額四六、〇八〇円

・第五段階

年額五七、六〇〇円

・第六段階

年額六九、一二〇円

旧三町村の平均月額保険料三、二二一円が、平成十八年度から三、八四〇円に引き上げられる。（平均一九・六％アップ）



介護予防が大切、生き生き教室

おもな 質疑答弁

野中つね子議員

保険料の上昇を抑えていく手立てをどう考えているか。有効な給付サービスを見たい。

伊藤市民部長

新たに介護状態にならないよう、予防する給付サービスが出ている。これらの効果で、なるべく介護給付費を

低く抑えるよう努力したい。

大村俊枝議員

現場の包括支援センター、および相談窓口に対する人員の確保は、どう考えているのか。

市民部長

中央市には現在包括支援センターはない。民間の施設も比較的多いので、公営にするか、民間に委託するかはこれから考えて、最善の方法をとっていききたい。



市立豊富デイサービスセンター

【予算】

○平成十七年度一般会計暫定補正予算（第一回）

正予算

総額は五二億六、五五五万四千円

で変わらず、歳出の組み替え。

○平成十七年度簡易水道事業特別会計暫定補正予算（第一回）

総額は五億四、九二〇万五千円

で変わらず、歳出の組み替え。

○平成十七年度下水道事業特別会計暫定補正予算（第一回）

市債一〇〇万円を減額し、総額を六億三、五一九万三千円とするもの。

○十八年度一般会計暫定予算
本予算が成立する六月までに
必要な経費の収支を計上したも
ので、歳入、歳出は一致しない。

■歳入

二六億四、四二五万七千円

■歳出

三〇億七、四八八万五千円

○十八年度国民健康保険特別会
計暫定予算

■歳入

三億五、九九〇万八千円

■歳出

五億二、六一四万六千円

○十八年度老人保健特別会計暫
定予算

■歳入

三億九、二三〇万八千円

■歳出

四億八、三二九万五千円

○十八年度介護保険特別会計暫
定予算

■歳入

一億七、四〇三万五千円

■歳出

三億一、二二六万九千円

○十八年度介護保険サ
ービス特別会計暫定予算

■歳入

一〇万四千円

■歳出

一〇万四千円

○十八年度簡易水道事業
特別会計暫定予算

■歳入

二、〇二七万一千円

■歳出

八、八三三万九千円

○十八年度下水道事業特
別会計暫定予算

■歳入

六、〇一七万円

■歳出

二億五、三三六万四千円

○十八年度農業集落排水事業特
別会計暫定予算

■歳入

八九九万三千円

■歳出

三、二九八万七千円

○十八年度田富よし原処理セン
ター事業特別会計暫定予算

■歳入

一三万円

■歳出

八三四万一千円

○十八年度土地地区画整理事業特
別会計暫定予算

■歳入

一億三、二七〇万一千円

■歳出

二億五、二二〇万円

○十八年度上水道事業会計暫定
予算

（営業収支）

収入 九、六二四万六千円

支出 八、八三二万三千円

（資本的収支）

収入 七五〇万円

支出 一、九六八万九千円

規約の変更ほか

市町村の合併に伴う

規約の変更ほか

・甲府地区広域行政事務組合規
約の変更

・東八代広域行政事務組合規約
の変更

・東八代広域行政事務組合規約
の変更

・東八代広域行政事務組合の共
同処理する事務の変更に伴う
財産処分
・山梨県市町村総合事務組合規
約の変更
・山梨県市町村議会議員公務災
害補償等組合規約の変更
・山梨県市町村自治センターを
組織する地方公共団体の数の
変更

・笛吹市外三市村等指導主事を
共同設置する地方公共団体が
らの脱退
・笛吹市外二市村ことばの教室
共同設置協議会からの脱退
・南アルプス市外二市一町指導
主事共同設置規約の変更の協
議
・峡中地区ことばの教室共同設
置協議会規約の変更の協議

●議会の動き●

2月

20日 中央市開庁式

23日 市議会議員打合せ会

27日・28日 平成18年第1回臨
時会

3月

6日 議会運営委員会

9日 平成18年第1回定例会

14日 市内中学校卒業式

15日 神明団地起工式

17日 玉穂地区小学校卒業式

22日 玉穂れんげまつり実行委
員会

23日 田富地区・豊富地区小学
校卒業式

27日 JA中巨摩東部育苗セン
ター竣工式

27日 中巨摩広域事務組合議会

28日 市内保育園卒園式

28日 三郡衛生組合議会

28日 甲府市・中央市中学校組
合議会

4月

29日 甲府地区広域行政事務組
合議会

30日 東八代広域行政事務組合
議会

4日 玉穂保育園入園式

5日 田富地区小学校入学式、
豊富保育園入園式

6日 玉穂地区・豊富地区小学
校入学式

6日 田富中・笛南中入学式

7日 田富地区保育園入園式・
玉穂中入学式

12日 県市議会議長会定期総会

14日 議会広報編集委員会

19日 県市町村長・議会議長会
議

19日 粘土節保存会定期総会

20日 関東市議会議長会定期総
会

21日 中巨摩東部農協総代会

29日 玉穂れんげまつり



厳しゅうに行われた開庁記念式典

市役所前

市民の談話室



新市に望むこと

木原 大村 正英



全国的な「平成の大合併」という流れの中で誕生した「中央市」も、すでに3カ月が経とうとしています。

過日、新市長が決まり、中央市の舵取りをする行政側と議会側の両者が揃い、本格的なスタートがきられ、期待を寄せているところでもあります。

私が新市に望むことは、我々住民が安心して暮らし続けられることであり、平穏な日常生活が送れる地域環境が整い、将来に向かって保たれることだと思います。

日本のほぼ真ん中に位置する山梨、その中心に誕生した「中央市」が、この自然豊かな地域で、将来に向かって発展することを願い、私も一市民として市政に関心を持っていきたいと思っています。

中央市に望むこと

下三条 竹本由美子



春は豊富の千本桜に始まり、秋は田富・玉穂の実り豊かな稲穂の波と、笛吹川をはさんだ広大な地域が、我がふるさと中央市となりました。

日本の人口が減少しつつある今日、わが街は人口3万人となり、今まで以上に市民の声が届く市政運営に期待が寄せられています。

なかでも、私が期待したいことは教育現場の充実です。少人数学級の早期実現や、すでに一部の地域の方には、ご協力をいただき実施されています安全パトロール運動の拡大などです。中央市の未来を担う大切な子どもたち一人ひとりが、輝きながら安心して伸び伸びと学び、成長できる街づくりをお願いします。

議会を傍聴してみませんか？



中央市議会では、市民の皆様には議会の様子を知っていただくために、定例会の傍聴をお勧めします。
ご希望の方は市役所2階の議会事務局で氏名、住所を記入すればどなたでも傍聴ができます。お気軽にお申し出ください。
次の定例会は6月中旬を予定しております。
電話 二七四一八五一六



編集委員会の様子

編集後記

議会だよりの編集を九名の委員で担当させていただくことになりました。どこまでも住民の立場に立ち「議会のすべてを市民に公開する」ことを原則として、読んでいただける「議会だより」を目指したいと思います。

そのためには、市当局に対するチェック機能としての客観的な姿勢を貫きながら、分かりやすい表現で公正・正確な編集を心がけようと思います。

モンテ・ニユの言葉に「言葉を通して、私たち人間は心を通わせ、意思を表し、生活を営んでいる。だからウソがばびこるようになる」と、その社会の基礎は大きく揺らいでしまうことになる。それは我々の交わりのすべてを断ち切り、我々の国家のつながりのすべてを解いてしまう。」

私たち編集委員の基本はここにあると思います。

心の通った市民とのふれ合いを大切にしながら、任期中頑張つてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(委員長 野中 記)

議会だより編集委員会
委員長 野中つね子
副委員長 山土井輝雄
委員 中澤 一夫 石原 芳次
小沢 治 一瀬 明
小池 満男 石川 直
河西 定男